

アミノ酸と生活習慣病

アミノ酸解析はどこまで疾病リスクを予想できるのか？

演者：味の素株式会社アミノインデックス部

安東 敏彦

血液中のアミノグラムは常に一定になるようにコントロールされていますが、多くの疾病では臓器の代謝が変化し、アミノグラムも影響を受けることが報告されています。実際、生理学的な状態と関連したアミノ酸濃度の具体的な異常は、肝不全、腎不全、癌、糖尿病、筋肉機能不全などを含めて、様々な病気で報告されています。このことから、逆に、ある疾病によって引き起こされるアミノグラムの変化から疾病の有無を知ることができるのではないかと考えられました。

しかし過去の研究では、特定の代謝異常等を除いて単一のアミノ酸濃度の動きから栄養状態や疾病の有無を判断することは難しいとされていました。そこで、複数のアミノ酸の組み合わせを統計的に解析する方法を開発し、アミノ酸濃度からなる指標を作成しました。この「アミノインデックス」と名付けた指標は、がんのリスクスクリーニング検査としてすでに実用化されており、近々に、生活習慣病などへも応用されようとしています。

本セミナーでは、なぜアミノ酸で健康状態が分かるのかという基本的な考え方と、がんや生活習慣病への応用の実際を紹介します。



日時：3月24日(土)/12:30-13:20

場所：京都女子大学

会場：C01 会場 (C 校舎 5F C501)

味の素株式会社

本ランチョンセミナーは整理券制です
定員：250名